

目 次

報 文 特別講演

アブラムシとコナジラミ媒介性ウイルス病の防除を巡る諸問題……………本多健一郎 1

病 害 の 部

(イネ・ムギの病害)

農薬出荷量データに基づく QoI 剤耐性イネいもち病菌の発生要因の統計分析……………鈴木文彦・光永貴之・芦澤武人 6

イネ縞葉枯病抵抗性品種「彩のかがやき」「彩のきずな」の縞葉枯病防除効果およびヒメトビウンカの発生活長と RSV 保毒虫率
……………酒井和彦・植竹恒夫・小俣良介 10

葉耳滴下接種による麦類黒節病の病徴再現……………井上康宏・上松 寛 15

(畑作物・野菜の病害)

Fusarium oxysporum によるニンジン乾腐病 (病原追加)

……………金子洋平・横山とも子・中田菜々子・深見正信・中村耕士・山本幸洋・大井田 寛・福田 寛 18

千葉県秋冬どりニンジン産地におけるしみ症の発生実態……………中村耕士・横山とも子・鈴木健司・福地信彦 23

ウリ類退緑黄化ウイルスの潜在的保毒源としてのカラスウリの評価……………影山智津子・土井 誠・松野和夫 27

栃木県における QoI 剤耐性遺伝子型 G143A を持つキュウリべと病菌およびブドウべと病菌の発生……………中澤佳子・癸生川真也 30

栃木県における「アスカウェイブ」を侵すイチゴ萎黄病菌の発生推移
……………山崎周一郎・高野純一・森島正二・山城 都・高橋怜子・福田 充 33

Pythium megalacanthum によるブロッコリー苗立枯病 (病原追加) ………………窪田昌春・楠 幹生 35

ホウレンソウべと病菌分離株 SAI-2 に対するホウレンソウの品種抵抗性……………山内智史・酒井和彦・白川 隆 39

高冷地有機栽培レタスにおける病害の発生動向とその対策
……………清水時哉・桑澤久仁厚・佐藤 強・山内智史・小木曾秀紀・藤永真史 41

Hyaloperonospora parasitica によるナズナべと病 (新称) の発生 ………………山内智史・佐藤 衛 47

数種殺菌剤の施用がナシ萎縮病菌 *Fomitiporia torreyae* による材質腐朽伸長に与える効果
……………金子洋平・吉田明広・鈴木 健・福田 寛 50

(果樹の病害)

温水処理と低濃度エタノールによる土壌還元処理を組み合わせたナシ白紋羽病の発病跡地消毒法……………高橋真秀・鈴木達哉・深見正信 55

オリーブがんしゅ病の薬剤防除……………田中弘太・太田光輝・杉山知里・黒柳栄一・遠 瑞枝・瀧川雄一 59

(花卉・花木・樹木の病害)

Rhizoctonia solani AG 2-2 IIIB によるアサガオ苗立枯病 (新称) ………………佐藤 衛・山内智史 63

Stemphylium lancipes によるオダマキ紫斑病 (菌種同定) および病原性の確認 ………………佐藤 衛・築尾嘉章・松下陽介 65

(研究手法)

我が国で発生する 8 種トスウイルスを検出できるユニバーサルプライマー……………奥田 充 68

虫 害 の 部

(イネ・ムギの虫害)

イネ縞葉枯病発病抑制のためのヒメトビウンカに対する本田防除適期……………諏訪順子・北村 舞・西宮智美 73

ヒメトビウンカを誘殺する黄色粘着トラップの種類の検討……………平江雅宏・柴 卓也 77

(畑作物・野菜の虫害)

タバコカスミカメ (カメムシ目: カスミカメムシ科) の定植前放飼または定植後放飼による施設トマトのオンシツコナジラミ
(カメムシ目: コナジラミ科) の防除効果……………大井田 寛・木内 望 80

千葉県内の露地圃場に植栽されたゴマにおけるタバコカスミカメ (カメムシ目: カスミカメムシ科) の発生活長
……………大井田 寛・石川晴久・名雪将史 84

群馬県の天敵温存植物を導入した露地ナス圃場における微小害虫類および土着天敵ヒメハナカメムシ類の発生活長……………三木静恵 86

ワタアブラムシを寄主としたナケルクロアブラバチの生存と発育……………小山田浩一 94

アブラムシ寄生蜂ナケルクロアブラバチ *Ephedrus nacheri* Quilis に対する農薬の影響……………小林 誠・西村浩志・小山田浩一 98

コマツナにおける主要な害虫の密度と被害程度の関係……………長坂幸吉 104

ネギネクロバネキノコバエ (仮称) のネギにおける寄生部位と薬剤感受性……………岩瀬亮三郎・浅野 亘・小俣良介 109

葉ネギのネギハモグリバエに対する殺虫剤の効果と各種展着剤を加用したときのネギハモグリバエ・ネギアザミウマに対する殺虫剤の効果	土井 誠・中野亮平・石川隆輔・片山晴喜	113
緑肥用オオムギを間作した露地ネギ圃場のネギおよびオオムギにおけるアザミウマ類（アザミウマ目：アザミウマ科）およびキイカブリダニ（ダニ目：カブリダニ科）の発生活動	大井田 寛・石田卓也・高橋 将	118
神奈川県におけるミナミアオカメムシの初確認	白石和弥・石森裕康・奥村 一・下藺健志・糸山 享	122
川崎市の花弁および野菜におけるミカンキイロアザミウマの殺虫剤感受性	中村晃紳・山崎大樹・鶴田万智・糸山 享	126
（茶の虫害）		
茶園におけるウスイロマルカイガラムシ <i>Aspidiotus destructor</i> Signoret の生活史と土着天敵	小澤朗人・内山 徹	129
（果樹の虫害）		
ミカンキイロアザミウマ <i>Frankliniella occidentalis</i> によるキンカン幼果の加害	増井伸一・土田祐大	134
イヌマキの刈込みがチャノキイロアザミウマ <i>Scirtothrips dorsalis</i> の発生に及ぼす影響	増井伸一・片山晴喜	136
山梨県におけるクビアカスカシバ幼虫に対する薬剤の効果およびブドウ果実の外観品質への影響	内田一秀・村上芳照・綿打享子・功刀幸博	138
（研究手法）		
昆虫飼育ケージ内でのツルニチニチソウを用いたユキヤナギアブラムシの飼育	櫻井民人	141
農業環境でみられるアブラムシの一次および二次寄生蜂の種判別のためのミトコンドリア <i>COI</i> 配列情報	上杉龍士・長坂幸吉	143

第64回研究発表会講演要旨

病害の部

バラのウイルス病に関する調査 第1報 <i>Prunus necrotic ringspot virus</i> および <i>Blackberry chlorotic ringspot virus</i>	鎌田 瞳・佐藤健太・平栗章弘・前野絵里子・川合 昭・西尾 健	146
トスボウイルスを検出するユニバーサルプライマーの検討	奥田 充	146
サクラのウメ輪紋ウイルス伝染源としてのリスク評価	伊藤彰伸・上村兼輔・松原聖斗・田守 秋・蝶名林春香・平栗章弘・川合 昭・勝木俊雄・西尾 健	146
<i>Fusarium oxysporum</i> によるニンジン乾腐病（病原追加）	金子洋平・横山とも子・中田菜々子・深見正信・中村耕士・山本幸洋・大井田 寛・福田 寛	146
千葉県春夏どりニンジンにおける乾腐病発生実態について	中村耕士・大井田 寛・鈴木健司・横山とも子・金子洋平・藤田拓子・押田智子・中村仁美	147
千葉県における食用ナバナ等に発生する根こぶ病菌のレースの分布	植松清次・押切浩江・河名利幸	147
ダイズ黒根腐病の発病低減を目指した機能性堆肥の調整	仲川晃生・菊川裕幸・中島千佳・越智 直・薬師堂謙一	147
各種土壌消毒による青枯病菌殺菌効果	井上康宏・中保一浩	148
地下深部の白紋羽病菌に対する低濃度エタノールを用いた土壌還元消毒の効果	高橋真秀・鈴木 健	148
イネ縞葉枯病抵抗性品種「彩のかがやき」「彩のさずな」によるイネ縞葉枯病防除効果と留意点	酒井和彦・植竹恒夫・小俣良介・田中克典・山本和雄	148
イネいもち病（穂いもち）の防除要否判断の目安	中島宏和・萬田 等・山下 亨・和田美佐・豊嶋悟郎	149
自走式蒸気処理防除機を利用した過熱水蒸気処理がイネ紋枯病菌の菌核に与える死滅効果	井鍋大祐・市原 実・斉藤千温・中村浩也	149
Wet sieving とリアルタイム PCR を組み合わせたネギ黒腐菌核病菌の定量法の検討	鐘ヶ江良彦・吉田重信	149
高冷地有機栽培レタスにおける病害の発生動向とその対策	清水時哉・桑澤久仁厚・佐藤 強・山内智史・小木曾秀紀・藤永真史	149
群馬県におけるレタス根腐病の発生状況と品種抵抗性	古澤安紀子・三木静恵・酒井 宏	150
各種資材の土壌処理がイネ稲こうじ病の発生抑制に及ぼす影響	芦澤武人	150
栃木県におけるオオムギ斑葉病の発生と防除対策	山城 都・高橋怜子・山崎周一郎・福田 充・塚原俊明	150
プロベナゾール顆粒水和剤のセル成型苗灌注処理によるキャベツ黒斑細菌病の防除	石山佳幸・寺岡 豪・藤永真史・山岸菜穂・清水時哉・山田和義	150
長野県におけるナン黒星病の日本なし「幸水」果実肥大期の主要感染時期	岩波靖彦	151
カンキツ黒点病菌の後期感染に対する薬剤の散布適期	篠崎 毅・青野光男・清水伸一	151
神奈川県育成中晩柑「湘南ゴールド」さび果の原因と対策	二村友彬・中島 修・服部俊一・岡本 保	151

虫 害 の 部

ウメ輪紋ウイルスの拡散防止を目的とした春季におけるアブラムシ類の薬剤防除体系（現地実証試験）

.....加藤綾奈・坂本 彩・飯塚 亮・星 秀男	152
秋季にウメに飛来するアブラムシ類の薬剤防除と翌春における抑制効果.....坂本 彩・加藤綾奈・飯塚 亮・星 秀男	152
長野県におけるカキのフジコナカイガラムシ第1世代幼虫の発生予測と防除.....布山佳浩・栗原 潤・木原 宏	152
クリシギゾウムシ休眠前終齢幼虫に対する冬季中耕と低温遭遇による防除の可能性.....金子政夫・笹脇彰徳・加藤秀一	152
コレマンアブラバチと土着3種アブラバチの寄主範囲の比較.....長坂幸吉・勾坂 晶・光永貴之	153
長期栽培トマトにおけるタバコカスミカメの利用.....中野亮平・土井 誠・石川隆輔・片山晴喜・村松嘉和	153
タバコカスミカメとバンカー植物の併用による施設キュウリのアザミウマ類防除効果.....日本典秀・長坂幸吉	153
明治大学生田キャンパスの露地ナスとオクラにおけるヒメハナカメムシ類の発生推移と種構成.....森田暁帆・糸山 享	154
ヒメハナカメムシ類の保全に配慮した小ギクのアブラムシ類防除.....竹内隆太・糸山 享	154
東京都御蔵島におけるシロテンコウモリ幼虫によるサトイモの被害実態.....飯塚 亮・山口修平・坂本浩介	154
サツマイモ品種「べにはるか」栽培跡土壌におけるキタネコブセンチュウの増加.....高野幸成・横山とも子・鈴木健司	154
神奈川県におけるミナミアオカメムシの初確認と定着.....白石和弥・石森裕康・奥村 一・下園健志・糸山 享	155
水田におけるイチモンジセリ幼虫に対する BT 剤散布時期の影響.....石崎摩美・石島 力・三浦重典	155
異なる黄色粘着トラップにおけるヒメトビウカ誘殺数の推移.....平江雅宏・柴 卓也	155
長野県における LED 光源を利用した予察灯の水稻害虫に対する誘引性能の評価阿曾和基・栗原 潤・豊嶋悟郎	155
水稻害虫に対する予察灯の従来型光源と LED 光源との誘引力の比較石島 力・平江雅宏	156
シソサビダニ <i>Shevtchenkella</i> sp. の寄生性黒岩佑有・阿部貴也・上遠野富士夫・多々良明夫・鍵和田 聡	156
群馬県の露地ナスに発生したナミハダニの薬剤感受性.....前田宏美・島田 景・藍澤 亨	156
群馬県のイチゴに発生したナミハダニの薬剤感受性検定.....島田 景・前田宏美・藍澤 亨	156
夏秋どりイチゴのハダニ類防除における定植前温湯処理の可能性.....野口忠久・北林 聡・桑澤久仁厚・山田和義	157
埼玉県のネギで発生した新害虫クロバネキノコバエ科の一種の薬剤感受性.....岩瀬亮三郎・小俣良介・浅野 亘	157
新害虫クロバネキノコバエ科の一種のネギにおける分布とテフルトリン粒剤の効果.....小俣良介・岩瀬亮三郎	157
ネギハモグリバエに対する殺虫剤の効果と展着剤との組み合わせ.....土井 誠・中野亮平・石川隆輔・片山晴喜	157
川崎市の花弁および野菜におけるミカンキイロアザミウマの殺虫剤感受性.....中村晃紳・山崎大樹・鶴田万智・糸山 享	158
ミツバチ農薬影響評価におけるいちご代替作物なばなについて及川雅彦・鈴木由子・小林政文・八丁昭龍・長岡広行・富田恭範	158

そ の 他

関東東山地区に新たに発生が確認された病害虫（2016年度）.....	159
本会記事.....	162
英文目次（CONTENTS）.....	164
関東東山病害虫研究会投稿規定，執筆要領.....	166
関東東山病害虫研究会賛助会員.....	170